

【社会】

「イモビカッター」販売で男逮捕 窃盗ほう助の疑い

2011年1月26日 夕刊

セルシオなどの高級自動車盗難事件を捜査する愛知県警捜査3課と西署などは、盗難防止装置「イモビライザー」を解除する器具を窃盗グループに売ったとして、窃盗ほう助の疑いで、京都市の電子機器販売業の男(60)を逮捕した。窃盗事件に悪用される器具の売買に絡み、同容疑の適用は全国的にも珍しい。捜査関係者が明らかにした。

捜査関係者への取材では、男は昨年春、インターネットオークションを通じて、解除器具「イモビカッター」1個を、高級自動車の窃盗グループの男に2万6000円で販売した疑いが持たれている。

同課などは昨年夏から秋にかけ、イモビカッターを使ってセルシオやクラウンを盗む名古屋市内などの窃盗グループの男4人を、窃盗や盗品等有償譲り受けの疑いで逮捕した。同市を中心に、30台以上の自動車盗のほか車上狙いもしていたとみられ、被害総額は1億1000万円に上る。

捜査でイモビカッターを販売した男が浮上。昨年11月、男の自宅などを窃盗ほう助容疑で家宅捜索し、2個を押収した。男はその際、「中国から1個2000～3000円で300個輸入した」と話していた。